

# 事務事業評価資料

施策名		県民の県政参画機会の充実		所管部局課名	企画県民部知事室広聴室		
事業名		走る県民教室		担当者電話番号	078-362-3022		
事業目的		地域住民が県内の県施設等を見学することを通じて、県政理解と地域間交流を促進する。					
事業内容		地域団体が借り上げるバス経費の一部補助 (補助率1/2：上限日帰り25千円、1泊2日50千円)			事業開始年度	昭和52年度	
事業に要するコスト	区分	平成20年度決算額		平成21年度当初予算額		平成22年度当初予算額	
	事業費	(0千円) 66,003千円		(0千円) 105,950千円		(0千円) 105,760千円	
	人件費	53,367千円	従事人員 6.3人	44,308千円	従事人員 5.3人	43,481千円	従事人員 5.3人
	総コスト(+)	119,370千円	従事人員 6.3人	150,258千円	従事人員 5.3人	149,241千円	従事人員 5.3人
事業の目標		走る県民教室の参加人数の確保			[目標設定理由] 「走る県民教室」を含む県民交流バスの実施により、H17～22年度で100万人の交流を達成し、県政理解と地域間交流の充実を図るため		
目標の達成度を示す指標		指標名	目 標 目標値 年度	20年度実績	21年度見込み	22年度目標	達成率(%) H20 H21 H22
		参加人数	860,000人 H17～H22	85,630人 (累計516,576人) (1.4千円)	72,033人 (累計588,609人) (1.4千円)	140,000人 (累計728,609人) (1.1千円)	60.1% 68.4% 84.7%
評価結果	必要性	・県・市町施設や様々な行政施策に直接触れることによる県政理解の促進を通じて、県政の基軸である参画と協働の推進及び地域間交流の拡大を図ることが必要である。					
	有効性	・厳しい景気状況等の影響もあり、参加者数が伸び悩むものの、年間8万人前後の県民に利用されており、県政理解と地域間交流の推進が図られている。					
	効率性	・H19新行革プラン作成時に補助金単価及び補助対象台数について見直しを行い、事業総額の抑制を図ったところである。20年度に入り急激な景気後退、H21新型インフルエンザによる旅行の手控え等の影響もあり、参加者が減少しているものの、参加者一人あたりのコストは減少(H19@1.8千円/人 H20及びH21@1.4千円/人)しており、効率的な事業運営を図っている。					
	民間・市町との役割分担	・県下全域にわたる地域間交流の拡大と県政理解の促進を目的とする事業であり、広域行政を担う県が主体性を発揮すべき行政分野である。					
	受益と負担の適正化	・平成20年度新行革プランの中で、県民ニーズの高い事業であることを考慮し、助成台数及び補助率1/2を維持した上で、補助限度額引き下げの見直しを行っており、受益と負担の一層の適正化に取り組んでいる。					
実施方針	方向性	新規	拡充	継続	実施手法の見直し		
		廃止	縮小	統合	凍結(休止)	延長	終期設定
	実施手法の見直し内容	市町移譲	民間移譲	民間委託	PFI	負担割合変更	事務改善 其他
説明	県民の県政理解と地域間交流の促進に役立つ効果的な事業であるため、引き続き実施する。						